

『皆様へ』

新型コロナウイルス感染症により世界中でたくさんの尊い命が奪われました。お亡くなりになられた方に哀悼の意を表するとともに、ご遺族の方には心よりお悔やみ申し上げます。今後、我々は社会経済活動を本格的に回復させる一方で、同時に、このウイルスの感染拡大を抑え込む。このような難しく、長い道のりを、世界中の人がチャレンジする時代になりました。

当院では4月の初旬より緊急性のない患者様へのメンテナンス、治療の延期のお願いさせていただいておりましたが、昨今の感染者数の減少や十分な感染対策をした診療体制を整えることができましたので、段階的にメンテナンスの再開を決定させていただきました。

当院のスタッフ一同は、発熱した際には2週間程度の休暇をとることとし、日常のあらゆる場面でウイルスへの警戒を怠らないで生活することをお約束します。こまめな手洗い、持続的な換気、日常に人と人の距離を十分に取り、密集は避ける。外出するときは必ずマスクを着用し、他の人との密接はできるだけ避ける。

また当院として、これまでの感染対策に加え、現在以下のような体制をとっております。

- ① 来院されるすべての方への検温、手指消毒のお願い
- ② 診療開始前に含漱薬を用いて30秒のうがいのお願い
- ③ スタッフのフェイスシールドの着用（会話が困難なことがありましたら、その旨お伝えください）
- ④ 全日または一時間毎の換気（診療中にも施行させていただきます）
- ⑤ 消毒液を用いた環境消毒（歯科ユニット、手すり等）の徹底
- ⑥ 従業員の勤務体制

大きな変更としては、患者様同士の接触時間を軽減するため、予約時間を変更しお昼の時間にもメンテナンスを行うことができるようになりました。感染リスクをできる限りコントロールしながら、いつもの仕事、日々の暮らしを取り戻す。新たな日常を、しっかりと時間をかけ、ある程度の試行錯誤も重ねながら、確立していく必要があります。

そんな中、久しぶりのメンテナンスで来院された方から私たちへ労いのお言葉をいただきました。私共の診療を必要に思ってくれる大切な患者様の存在に改めて気づかされました。医療従事者として大変励みになりました。改めて多くの患者様が当院を信頼して来院いただくことに感謝するとともに、信頼を裏切らない体制を強化していかなければならないと強く感じております。

院長 橘 寛彦 拝